

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年02月07日

計画の名称	北陸新幹線を軸とした北陸3県における広域観光活性化計画												
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)							重点配分対象の該当					
交付対象	富山県												
計画の目標	平成27年3月に長野～金沢間が開業した北陸新幹線について、令和5年春には金沢～敦賀間の開業を控えるなど、北陸と首都圏及び関西圏への交通体系が大きく進展することを契機として、優れた観光拠点施設を有する北陸3県が密接に連携し、交通結節点と拠点施設間、または拠点施設を相互に連絡する広域的な周遊ルートを整備することにより、交流人口を拡大し、地域振興を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,847	A	5,847	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H30	中間目標値 R4末	最終目標値 R6末
1	<b>【富山県・石川県・福井県共通目標】</b> 富山県、石川県、福井県における観光入込客数の増加率を現況<H30>100%に対し、<R6>112%とする(12%の増加) ・富山県・石川県・福井県 共通目標 観光入込客数の増加率 (観光入込客数の増加率) = { (評価時点の観光入込客数) / (H30観光入込客数) } × 100	100%	109%	112%
2	<b>【富山県 目標】</b> 拠点施設における観光入込客数の増加率を現況<H30>100%に対し、<R6>107%とする(7%の増加) ・拠点施設における観光入込客数の増加率 (観光入込客数の増加率) = { (評価時点の観光入込客数) / (H30観光入込客数) } × 100	100%	107%	107%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	--	---------------

A 基幹事業																													
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況										
		種別	種別	対象	間接							R02	R03	R04	R05	R06													
一体的に実施することにより期待される効果																													
備考																													
広域連携事業	A11-001	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	改築	(国) 415号 谷屋大野バ イパス	バイパス L=0.6km	氷見市	■	■					80		—									
	A11-002	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	(主) 宇奈月大沢野線 石垣新～大海寺野	バイパス L=0.9km	魚津市	■	■	■	■	■			884		—								
	A11-003	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	改築	(国) 304号 高宮バイパ ス	バイパス L=1.3km	南砺市	■	■						322		—								
A11-004	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	(主) 富山上市線 水橋 開発	交差点改良 L=0.2km	富山市	■	■	■	■	■			449		—									
A11-005	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	(主) 黒部宇奈月線 若 栗	バイパス L=1.3km	黒部市	■	■	■	■				388		—									
A11-006	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	(一) 中山田家新線 田 家野	現道拡幅 L=0.5km	黒部市	■	■	■	■	■			300		—									

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-007	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	(主) 坪野小矢部線 正 権寺	現道拡幅 L=0.6km	砺波市	■	■	■	■	■	450	—	
	A11-008	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	改築	(国) 304号 荒木	現道拡幅 L=0.5km	南砺市	■	■	■	■	■	900	—	
	A11-009	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	交通安 全	(主) 高岡砺波線 杉木	交差点改良 L=0.1km	砺波市	■					80	—	
	A11-010	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	(一) 千里八尾線 婦中 町千里	バイパス L=0.7km	富山市	■	■	■	■	■	512	—	
A11-011	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	交通安 全	(国) 415号 雨晴	歩道整備 L=0.2km	高岡市	■	■	■	■	■	568	—		
A11-012	道路	一般	富山県	直接	富山県	都道府 県道	改築	(主) 小矢部伏木港線 福岡町上野	バイパス L=1.1km	高岡市	■	■	■	■	■	521	—		
A11-013	道路	一般	富山県	直接	富山県	国道	交通安 全	(国) 359号 平桜	交差点改良 L=0.2km	小矢部市	■	■	■	■	■	393	—		

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						5,847		
											合計						5,847		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R2	R3	R4	R5	
配分額 (a)	762	323	309	347	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	762	323	309	347	
前年度からの繰越額 (d)	0	603	236	102	
支払済額 (e)	159	601	443	309	
翌年度繰越額 (f)	603	325	102	140	
うち未契約繰越額 (g)	344	54	20	46	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	45.14	5.85	3.64	10.25	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係者との協議に不測の日数を要したため			関係者との協議に不測の日数を要したため	

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 北陸新幹線を軸とした北陸3県における広域観光活性化計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○